

鳥羽商船高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	English Expression 1	
科目基礎情報							
科目番号	0011		科目区分		一般 / 必修		
授業形態	演習		単位の種別と単位数		履修単位: 2		
開設学科	電子機械工学科		対象学年		1		
開設期	通年		週時間数		前期:2 後期:2		
教科書/教材	Vivid English Expression I（第一学習社）、副教材としてそれぞれにワークブックを使用、ベーシックジーニアス英和辞典（大修館）						
担当教員	橋爪 仙彦						
到達目標							
Reading	簡単な英語で書かれた比較的短い文章を直読直解できる。						
Listening	英語での指示や質問の内容を理解できる。						
Writing	基本的な構文を理解し、それを用いて簡単な英文を書ける。						
Speaking	決まったフレーズを用いて、自己紹介や簡単な会話ができる。						
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	簡単な英語で書かれた比較的短い文章を直読直解し、内容を正確に理解できる。		簡単な英語で書かれた比較的短い文章をほぼ直読直解できる。		簡単な英語で書かれた比較的短い文章であっても直読直解できない。		
評価項目2	英語での指示や質問の内容を正確に理解できる。		英語での指示や質問の概要を理解できる。		英語での指示や質問の内容を理解できない。		
評価項目3	基本的な構文を十分理解し、それを用いて簡単な英文を文法的に正確に書ける。		基本的な構文を理解し、それを用いて簡単な英文を間違いはあるものの書ける。		基本的な構文を理解できないため、それを用いた簡単な英文であっても書けない。		
評価項目4	決まったフレーズを用いて、自己紹介や簡単な会話ができる。		決まったフレーズを用いて、自己紹介や簡単な会話ができる。		決まったフレーズを用いても自己紹介や簡単な会話ができない。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の工夫をしながら伝える能力を養う。						
授業の進め方・方法	計2時間の授業で、Vivid English Expression I（第一学習社）を使用し、教室で主に英文法を学ぶ講義形式の授業と、Hello there! English Conversation（東京書籍）を使用し、LL教室で主にリスニングと会話をおこなう授業の二種で進める。 前者の授業は飯島が、後者の授業は鏡が担当する。						
注意点	English Expression 1は文法1単位、LL1単位の通年授業である。 評価については文法50%、LL50%となる。 評価における割合は、試験30%、ポートフォリオ50%、態度10%、発表10%とする。 ポートフォリオには、リスニングテスト、文法の確認テスト、レポート、ノート提出などが含まれる。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	Get Ready 1 Classroom English 英語の音の特徴 LL--LL教室の説明		Get Ready 2	英語の指示に適切に応えることができる。 リズム、イントネーション、音の脱落、音の変化について理解し聞いたり話したりすることができる。 LL教室の使い方等を理解できる。	
		2週	Get Ready 3 日本語と英語で異なる文の構造（語順） Get Ready 4 品詞・句と節 LL--Lesson 1 Nice to Meet You			書こうとする英文に適切な文構造を用いて文を作ることができる。 文中における品詞の働きについて理解し適切に運用することができる。 LL--英語で自己紹介をする、聞き返す、挨拶をすることができる。	
		3週	Lesson 1 Hello, Everyone! LL--Lesson 1 Nice to Meet You			英語で自己紹介することができる。 LL--英語で意味を尋ねる・説明することができる。	
		4週	Lesson 1 Hello, Everyone! LL--Lesson 2 Hello, Friends!			be動詞や一般動詞の肯定文、否定文を理解し、文を作ることができる。 LL--英語で許可を求める・与える、相手について尋ねる・答えることができる。	
		5週	Lesson 2 She Is from Canada LL--Lesson 2 Hello, Friends!			「留学生」の場面を想定してコミュニケーション活動ができる。 LL--英語でリストアップする表現を使用できる。	
		6週	Lesson 2 She Is from Canada LL--Listen Up 1			疑問文、命令文の表し方を理解し、文を作ることができる。 LL--既習レッスンの総復習問題を解答できる。	
		7週	Lesson 3 My School Life LL--Sakura's Adventure Episode 1			「学校生活」の場面をふまえてコミュニケーション活動ができる。 LL--入国審査で使用される表現を知り、応答できる。	
		8週	中間試験				
	2ndQ	9週	中間試験の返却と解答 Lesson 3 My School Life LL--Lesson 3 My Favorite Music			SV, SVCの文構造を理解し、文を作ることができる。 LL--英語で意見を言う、リストアップする時の表現を使用できる。	
		10週	Lesson 4 We Enjoy Club Activities LL--Lesson 3 My Favorite Music			「クラブ活動」の場面を踏まえてコミュニケーション活動ができる。 LL--英語で意見を言う、リストアップする時の表現を使用できる。	
		11週	Lesson 4 We Enjoy Club Activities LL--DVD鑑賞			SVO, SVOOの文構造を理解し、文を作ることができる。 英語の多様な表現や英語圏の文化に親しむ。	

後期		12週	Lesson 5 My Hobby LL--DVD鑑賞	「趣味・余暇」の場面をふまえてコミュニケーション活動ができる。 英語の多様な表現や英語圏の文化に親しむ。 誘う・誘いを断るときの表現を使用できる。
		13週	Lesson 5 My Hobby LL--Lesson 4 What Are You Crazy About?	S V O C, There is (are)の文構造を理解し、文を作ることができる。 LL--英語でリストアップする、興味・関心を伝える、誘う・誘いを断るときの表現を使用できる。
		14週	For Communication 1 LL--Lesson 4 What Are You Crazy About?	「電話」の場面をふまえて「提案・勧誘」の表現を使ってコミュニケーション活動ができる。 LL--英語でリストアップする、興味・関心を伝える、誘う・誘いを断るときの表現を使用できる。
		15週	期末試験	
		16週	期末試験の返却と解答	
	3rdQ	1週	Lesson 6 My Trip to Australia LL--Listen Up 2	「旅行」の場面をふまえてコミュニケーション活動ができる。 LL--既習レッスンの総復習問題を解答できる。
		2週	Lesson 6 My Trip to Australia LL--Sakura's Adventure Episode 2	現在形・現在進行形、過去形・過去進行形の表現と働きを理解し、文を作ることができる。 LL--買い物時に使用される表現を覚えることができる。
		3週	Lesson 7 Today's Weather Forecast LL--Lesson 5 A Friendly Potluck Dinner	「天候・気候」の場面をふまえてコミュニケーション活動ができる。 LL--英語で許可を求める・許可する / 許可しない表現を使用できる。
		4週	Lesson 7 Today's Weather Forecast LL--Lesson 5 A Friendly Potluck Dinner	will, be going to, 現在進行形などの未来を表す表現を理解し、文を作ることができる。 LL--英語で許可を求める・許可する / 許可しない表現を使用できる。
		5週	Lesson 8 Let's Have a Party! LL--Lesson 6 Are You All Right?	「パーティー」の場面をふまえてコミュニケーション活動ができる。 LL--英語で同情する、事情を理解する、助言することができる。
		6週	Lesson 8 Let's Have a Party! LL--Lesson 6 Are You All Right?	現在完了形の表現と意味を理解し、文を作ることができる。 LL--英語で同情する、事情を理解する、助言することができる。
		7週	Lesson9 Let's Enjoy Cooking! LL--Listen Up 2	「料理」の場面をふまえてコミュニケーション活動ができる。 LL--既習レッスンの総復習問題を解答できる。
		8週	中間試験	
		9週	中間試験の返却と解答 Lesson 9 Let's Enjoy Cooking! LL--Sakura's Adventure Episode 3	助動詞の働きと表す意味を理解し、文を作ることができる。 LL--レストランで使用される表現を覚えることができる。
		10週	Lesson 10 What's the Matter? LL--Lesson 7 Talking about Our Town	「健康・病気」の場面をふまえてコミュニケーション活動ができる。 LL--英語で描写する表現を利用できる。
		11週	Lesson 10 What's the Matter? LL--Lesson 7 Talking about Our Town	should, 助動詞を用いた依頼・勧誘の表現を理解し、文を作ることができる。 LL--英語で描写する表現を利用できる。
	4thQ	12週	For Communication 2 LL--英語の歌	「聞き直す・繰り返す」表現を理解し、文を作ることができる。 LL--英語のよく知られたクリスマスソングに親しむ。
		13週	For Communication 2 (2) LL--Lesson 8 Traditional Culture	「道案内」の場面をふまえて「聞き直す・繰り返す」表現を使ってコミュニケーション活動ができる。 LL--英語で予定を尋ねる・答える、習慣を尋ねる、説明するなどの表現を使用できる。
		14週	Lesson 11 A New Ballpark LL--Lesson 8 Traditional Culture	「スポーツ」の場面をふまえてコミュニケーション活動ができる。 LL--英語で予定を尋ねる・答える、習慣を尋ねる、説明するなどの表現を使用できる。
		15週	期末試験	
		16週	期末試験の返却と解答	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	1
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	1
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要となる英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	1

				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	1	
				日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	1	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	1	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	1	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	1	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	1	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	1	
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	1	
				英語運用能力向上のための学習		
				実際の場面や目的に応じて、効果的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト、代用表現、聞き返しなど)を適切に用いることができる。	1	
工学基礎	工学基礎	グローバルゼーション・異文化多文化理解	グローバルゼーション・異文化多文化理解	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識している。	1	
				様々な国の生活習慣や宗教的信条、価値観などの基本的な事項について説明できる。	1	
				異文化の事象を自分たちの文化と関連付けて解釈できる。	1	
分野横断的能力	汎用的技能	汎用的技能	汎用的技能	日本語と特定の外国語の文章を読み、その内容を把握できる。	1	
				他者とコミュニケーションをとるために日本語や特定の外国語で正しい文章を記述できる。	1	
				他者が話す日本語や特定の外国語の内容を把握できる。	1	
				日本語や特定の外国語で、会話の目標を理解して会話を成立させることができる。	1	
				円滑なコミュニケーションのための態度をとることができる(相づち、繰り返し、ボディランゲージなど)。	1	

評価割合

	試験	ポートフォリオ	発表	態度			合計
総合評価割合	30	50	10	10	0	0	100
基礎的能力	30	50	10	10	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0